



くわのみ

くわのっ子スクール・「宿題応援！書初め教室」

くわのっ子書き初め教室において、子ども達の作品完成のお手伝いをさせていただきました。子ども達は、2時間熱心に取り組んで作品を仕上げました。年の初めに、毛筆で目標や抱負などを書く書初め、日本文化に触れることは、とてもいい経験になるのではないかと思います。公民館の書初め教室をきっかけに、少しでも書道が好きになって、この経験を自信に変えてもらえたら嬉しく思います。ぜひ次年度もご参加ください。たくさん子ども達が頑張る姿に私がパワーをいただきました。ありがとうございました。公民館スタッフの皆様、子ども達に感謝申し上げます。近年パソコンの普及で字を書いて伝える機会が少なくなっている方、味のある自分自身の字で大切な方へ伝えてみてください。たくさんの方に「書」に興味を持ってもらえたらうれしいです。これからも、毛筆・ペン時に触れるお手伝い、心ある指導ができるように自分自身も勉強していきたいと思っております。



講師：大河原 里美さん

小学5,6年生の書初め教室を担当させていただきました。筆に不慣れな様子で筆の持ち方からの指導です。やがて線に力強さや勢いが加わり、しっかりした眼差しで筆を打ち込む姿が見受けられるようになってきました。注意された箇所を何度もやり直す姿。素直な態度にこちらも感動です。みなさん達成感を感じてくれた様子で、書道文化の明るい未来と頼もしさを感じた次第です。今回このような貴重な機会をいただき感謝申し上げます。私は、公民館の生涯学習の書道サークルで講師をさせていただいております。みなさん課題提出に毎月励んでおられますが、この2月に公民館祭りが行われるため、自作の俳句等を作品に仕立て、出品しようとみんなであれやこれやと楽しく構想を練っているところです。書道を通して生活に張り合いや潤いを感じ、そして、人との和を育てゆくこと。ささやかながらそのお手伝いができることに喜びとやりがいを感じ、さらに一步一步書道を学んでゆきたいと願っています。



講師：小河 美利さん

心配された雪も降らず、予定通り行うことができました。子ども達も予定時間前にはすっかり準備が整っていてやる気に満ちていました。公民館長さんのお話も静かに耳を傾けて聴くことのできる良い子たちで、始めるのが楽しみになりました。短い時間のなかで作品を仕上げるのは大変です。たまにしかやらないお習字ですので、筆の持ち方、墨のつけ方、字の形、大きさなどいろいろやるがあります。みんな一生懸命に書いていました。うまく伝えることができたか心配でしたが、楽しく活動させていただきました。



私は、お習字は小学1年生から習い始めました。字が上手だねとほめられるのがうれしくて続けていることができたと思います。学生の際は書初めが大好きでした。1年に一度、大きな半紙に大きな字を書くことができるからです。今は書道とは全く関係のない職業に就いています。趣味として、毎月所属している全日本書芸文化院に課題を送って勉強したり、Instagramに投稿したりしています。またこのような機会があればぜひお声かけいただければ嬉しいです。この度はありがとうございました。

講師：小林 圭子さん

おすすめの本

「しあわせのバケツ」 さく：キャロル・マッククラウド え：デヴィッド・メッシング



アメリカの「おかあさんが選ぶ絵本大賞」で金賞を受賞された絵本です。

・・・誰もが心の中に、見えないバケツを持っています。そのバケツには気持ちが入っていて、バケツがいっぱいになるとしあわせを感じる事ができ、バケツが空っぽになると悲しくなります・・・

「バケツ」に例えることで、小さいお子さんでもイメージがしやすく、どうすればバケツをしあわせでいっぱいにする事ができるのか、どうするとバケツが空っぽになってしまうのかが描かれています。

読み終えたあとは、読む前よりもずっと思いやりにあふれて、ポジティブな気持ちでいっぱいになれることでしょう！そんなとても素敵なお話です。ぜひ、みつけたらよんでみてください。



“地域未来塾・くわのっ子スクール” 親子プログラミング教室講師：伊藤 健 さん



今回は桑野地域公民館よりご依頼をいただき、マイクラフトを活用したプログラミング体験講座を実施させていただきました。

子ども達も普段から遊んでいるゲームを活用した内容になっているため、使い慣れていないパソコンであっても意欲的に取り組むことができ、一緒に参加した保護者も、初めてのプログラミング教室に興味関心を示されていました。

私は郡山市で「ワクワラボ」というスクール名でプログラミングスクールを運営しており、教育委員会後援の体験講座や、地域公民館主催の体験講座をサポートさせていただいております。当スクールでは子ども達に「未来の生きる力を身につけてもらう」ことをテーマとして掲げており、プログラミング教育を学ぶうえでの受け皿となれるような環境づくりを行っております。今後も継続してプログラミングを通じた地域貢献活動に注力して参りたいと思います。

